

2019年9月2日

各 位

会 社 名 ラ オ ッ ク ス 株 式 会 社 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 羅 怡 文 (コード番号 8 2 0 2 東 証 第 2 部 ) 問合せ先 執行役員 コーポレート統括本部長 若林孝太郎 (TEL 0 3 - 6 8 5 2 - 8 8 8 8 3 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等をふまえ、2019年2月28日に公表しました2019年12月期(2019年1月1日~2019年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

## 1. 業績予想の修正について

2019年12月期(2019年1月1日~2019年12月31日)の業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円
	150, 000	2,000	2,000
今回修正予想(B)	140,000	200	200
増減額(B-A)	△10,000	△1,800	△1,800
増減率 (%)	△6.7%	△90.0%	△90.0%
(ご参考)前期実績	117, 995	△943	△1, 341
(2018年12月期)			

<sup>(</sup>注) 前期実績は過年度訂正後の数値となります。

## 2. 修正の理由

当第2四半期連結会計期間(2019年4月1日~2019年6月30日)中、当社グループの主力事業の一つである生活ファッション事業において業績拡大や業務効率改善に向けた支出が先行したこと、及び6月中旬から7月にかけて東・西日本で気温が例年より低かった影響により夏物商戦が低迷したことが主な理由です。シャディ株式会社における物流拠点の統廃合などを中心にした構造改革による影響や、新規マーケティング費用の投入などの一時的な販売管理コストの増加があり、結果として計画対比で収益のずれが生じております。なお、第3・第4四半期については、概ね当初予定どおりに進捗する見込みであります。

以上により、前回発表予想と乖離が生じる見込みとなりましたので、今回修正を行うことにいたしました。

(注)上記記載の今回修正予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであり、不確実要素が含まれておりますので、実際の業績は記載の予想と異なる可能性があります。